

稲城市の皆さんと交流会を開催

ボランティア 松本忠久



新年を迎えた1月15日に、稲城市においてボランティア活動に取り組んでいこうとする皆さんとの交流会を開催しました。稲城市では3年前から住民主体の支え合いの仕組みを作るため、居場所づくりや住民の交流イベントなどを開催しながら話し合いを進め、住民ができる範囲でちょこっとできる支援組織を立ち上げたいという気運になってきたそうです。活動を進めてきた稲城市社会福祉協議会の職員さんが、以前世田谷区内のあんしんすこやかセンター職員だったことで、先行してちょこっとサービスを実践している“世田谷たすけあいネット”に話を聞きたいと連絡があり、交流会が実現したのです。

当日は、稲城市社協職員、地域包括支援センターの職員、地域住民の代表4名の6名が来訪され、こちらからは、大矢代表をはじめ3名が参加しました。稲城市では“世田谷たすけあいネット”の活動をモデルにしたいとお考えで、熱心な質問があり、当方もなるべく詳しくわかりやすく体験談をお話ししました。

特に、ボランティア活動を住民の手で立ち上げる際の当初の準備（事務所、運営費、必要備品など）、公的資金援助の有無、ボランティア要員の確保や研修、サービスの内容・ルール、現在の取り組み状況、トラブル経験などに関する具体的な質問が多く出され、これから取り組んでいく意欲が感じられました。

稲城市の皆さんに、こうした機会を持てたことを大変喜んでいただきこちらもうれしく思いました。本日の交流会が少しでも役に立ち、稲城市に住民が地域で支え合う豊かな活動が育っていくことを期待し、組織の順調な立ち上げと円滑な運営をお祈りしつつ閉会しました。

私たちも、稲城市の皆さんのご質問にお答えする中で、たすけあいネットの歴史を再確認し、今後の活動を考える良い機会になったように思います。

今年も1月8日ミーティングのあと、恒例の新年会を8人参加で開催しました。

始めに大矢代表から皆さんに、日頃の活動に対するお礼と今年も引き続き困っているお年寄りに“ちょこっとサービス”を提供しましょう、と挨拶がありました。

昨年は5月に、たすけあいネット開設から電話相談件数が1000回を達成した記念すべき年でしたが、今年もボランティアメンバーの皆さんの一層の活躍でさらに件数を積み上げていくことを申し合わせました。各メンバーからは昔のびっくりするような活動体験談が次々に出て大いに盛り上がり、元気に年齢も忘れて、飲み放題の飲食で和気あいあいの新年のスタートを切りました。

今年も新年会開催！



最近の相談事例紹介

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 病院の付き添い⇒1名出張 ● カーテンの交換、窓ガラス清掃⇒1名出張 ● 買い物、部屋の片付けなど⇒1名出張 ● 障害者手帳を持っている人、調布から区内へ引越しするが、役所手続き、荷ほどきなどをお願いしたい⇒1名出張 ● 亡くなった奥様の衣類などを「古着提供」に出す⇒1名出張 | <ul style="list-style-type: none"> ● 庭木の枝落とし⇒1名出張 ● 退院するので病院から自宅まで付き添いをお願いしたい、車いすで介護タクシーを利用⇒1名出張 ● 6畳居間にカーペットを敷いてほしい⇒手配ができた、先方よりキャンセル ● 眼科医院へ通院付き添い⇒1名出張 ● 医療センターへ通院付き添い⇒1名出張 |
|--|--|

最近の住まいあんしん訪問サービス実績

- 12月の見守り実績 4件 訪問 21回 担当延 4名
- 1月の見守り実績 4件 訪問 14回 担当延 4名